

北方四島交流等事業洋上セミナー 開催結果

1 目的 【開催テーマ：船の上から北方領土を体感】

北方四島交流等事業の理解促進を図る一環として、道内在住の大学生等に北方領土問題や北方四島交流に対する関心を持ち続け理解を深めて頂くために、セミナーを行った。

2 開催結果

| 区分 | 事項 |
|-------------------|---|
| 開催場所 | 「えとぴりか」船内、 北海道立北方四島交流センター（ニ・ホ・ロ）等 |
| 開催日時 | 令和7年9月15日（月・祝）（14：00～17：00） 9月16日（火）（9：00～16：30） 9月17日（水）（9：00～14：50） |
| 講話 | ・元島民の想いととも（元島民2世 久保 浩昭） ・通訳者からみた四島交流（ロシア語通訳者 佐藤 史郎） |
| 後援 | 北海道、根室市、別海町 |
| 参加者数 | 37名 |
| その他 視察・ 研修等 | 別海北方展望塔視察、ニ・ホ・ロ展示室・資料館見学、「えとぴりか」船内見学、洋上視察、講話、グループ討論、北方館・望郷の家/北方領土資料館/根室歴史と自然の資料館/根室市役所展望室/根室国後間海底電信線陸揚施設の視察 |



（元島民二世 久保浩昭氏）



（ロシア語通訳者 佐藤史郎氏）

3 総括・所感

参加者から、「やはり一見に優るものはないと思った。国後島を洋上で見た時の心臓の高鳴りは忘れない。」「北方領土への興味・関心が高まった。」「（元島民二世の四島への想いについて）父～自分～子どもへと、北方領土への思いを確実につないでいく強い意志を感じた。」「（四島交流に携わった通訳者からみた四島交流の話や通訳の仕事について）「ロシア人との向き合い方について、実体験を踏まえた話はわかりやすく勉強になった。」「双方がお互いを認め合うことから共存の道が開けるのではないかと思った。」との声が寄せられた。

主催者としては、当初の目的どおり、大学生を中心とした若年層の参加者の方々に北方領土問題や四島交流事業の目的や果たしてきた役割について理解を深めていただけたものと考えている。